



ちようふ



発行：調布市（毎月5日・20日発行）所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町2-35-1
編集：行政経営部広報課 市ホームページ：https://www.city.chofu.tokyo.jp/

☎042-481-7111

CONTENTS(主な内容)

新型コロナウイルスワクチンの 高齢者向け接種の概要	3・4
特集「子ども家庭支援センター すこやか開設20周年」	8・9
調布市応援アスリートインタビュー	16
東京2020オリンピック聖火リレールート公表	16

市報ちようふの配布に関する問い合わせは
市報ちようふ配布コールセンター
☎050-5357-9679へ



令和3年度の基本的施策

コロナ禍を乗り越え 未来へつなぐまちづくりに向けて

3月1日から始まった令和3年第1回市議会定例会で、長友市長は令和3年度の市政経営に対する基本的な考えについて所信を表明しました。要旨は次の通りです。基本的施策の全文は市庁舎、公文書資料室(市役所4階)と各図書館でご覧になれます。
☎政策企画課 ☎481-7368

1 はじめに

● 感染症対策

はじめに、新型コロナウイルス感染症への対応について、引き続き、3つの緊急対応の柱により、市民一人一人の命と健康を守るための感染症対策と社会・経済活動の再活性化に向けた支援の両面に関して、調布市医師会をはじめ多様な主体と連携・協力しながら、適時・適切に対応します。

● ワクチン接種

高齢者に対するワクチン接種については、調布独自方式の「集団接種」をはじめ、「個別接種」、「施設接種」の3つの方式により、4月以降の実施に向け、準備を進めています。さらに高齢者以外の対象者にも、できる限り早期に安心してワクチン接種ができるよう、万全の体制で準備に取り組みます。

● デジタル化

今般の感染症への対応を通じて、国と地方自治体のデジタル化の遅れなどの課題が明らかとなりました。市においても、デジタル技術の積極的な活用を進めるための組織体制を整備するとともに、人材育成や専門人材の活用などにも取り組みます。

● 調布市道などの陥没

昨年10月に、東京外かく環状道路本線トンネル工事現場付近で、調布市道などの陥没が発生し、その後、複数の空洞が確認されました。市と市議会は事業者に対し、早急な原因究明とともに、地域住民の安全確保、不安払拭のため万全の対策を講ずるよう強く求めて参りました。このような中、2月に入り、事業者は当該トンネル工事が陥没などの原因であることを明らかにしました。市は、引き続き、緊急要請した事項に対する事業者の取り組み状況や市民の不安解消に向けた対応を事業者を確認していきます。

2 まちづくりの 基本理念の実現に向けて

東京2020大会本番に向けて、安全・安心を第一にオール調布で大会を盛り上げ、まちづくりへの多面的効果をもたらす有形・無形のレガシーの創出につなげられるよう、関連事業を展開します。併せて、「パラハートちようふ ～つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち～」を掲げ、共生社会の重要性を市内外に発信していきます。

パラハートちようふ

つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち

「パラハートちようふ」ロゴ

また、引き続き、平和祈念事業を展開する中で、中学生のピースメッセンジャーを新たに長崎市へ派遣し、平和交流の成果を広く市民と共有することができるよう取り組みます。

併せて、男女共同参画社会の形成に向けて、人権の擁護や性の多様性の尊重、DV防止などの取組を引き続き推進するとともに、令和4年度からの次期男女共同参画推進プランの策定に取り組みます。



中学生被爆地
平和派遣事業
(ちようふピース
メッセンジャー2019)



調布っ子「平和なまち」絵画コンテスト2020
親子で参加！3～5歳の部 調布市長賞 木村 聡さん(5歳)

3 市政経営の2つの基本的な 考え方による取組の推進

参加と協働のまちづくり

参加と協働の前提となる市政情報の共有では、さまざまな媒体を通じた情報発信とパブリシティ活動を行います。

併せて、未来に向けたまちづくりを展望し、オンライン会議やコミュニケーションアプリの活用などにより、幅広い年代からの意見を把握し、次期総合計画策定に向けて取り組みます。

持続可能な市政経営の推進

行革プラン2019に基づき、行政運営の不断の見直し、改善に取り組みます。その中で、公共施設等マネジメントの推進では、個別施設のあり方、方向性を示す公共施設マネジメントの全体計画を策定します。

総合福祉センターとグリーンホールについては、利用者などの意見を踏まえた検討を進め、施設整備に関する基本的な考え方を取りまとめます。

4 予算編成に当たって

感染症拡大に伴う景気の悪化は市財政にも大きな影響を及ぼし、市税と各種交付金は、例年とは次元の異なる大幅な減収が見込まれます。極めて厳しい財政状況の中で、市民の安全・安心の確保と市民生活支援に継続的に取り組むことを第一に、不断の事業の見直し・改善に取り組むこと、さらに、厳しい財政環境の長期化も見据えた財政構造の改善と経常経費の縮減に取り組むことを基本姿勢として予算編成作業を行いました。

続きは2面をご覧ください